

接合部性能試験成績証

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
 2015/6/30

東京都港区芝5-33-7
 徳栄ビル本館4階
 ハウスプラス確認検査株式会社
 代表取締役社長 川股孝志



| | |
|-------------|--|
| 1. 接合金物名称 | DH クランクコーナー10 大地 |
| 2. 試験依頼者 | 株式会社 ダイドーハント 〒542-0086 大阪府大阪市中央区西心斎橋1丁目5番5号 |
| 3. 目的 | 柱頭柱脚接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。 |
| 4. 試験内容 | 柱頭柱脚接合部(中柱型)の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(平成21年4月1日制定)」による。 |
| 5. 試験体仕様 | <p>1) 接合金物</p> <p>「DH クランクコーナー10 大地」 材 質: SGHC(JIS G 3302)*1 寸 法: (外寸)30mm×42mm×120mm 板厚t=3.2mm 接合具用孔 (柱側)4-φ6.7mm (土台側)2-φ6.7mm 表面処理: Z27*2</p> <p>2) 接合具</p> <p>柱側: 「DH☆鍋頭ビス DB-60」4本 材 質: AISI 1022*3 寸 法: φ6.0mm(最小断面径φ5.05mm) L=60mm 頭部径φ9.8mm 表面処理: JIS H 8610(電気亜鉛めっき)Ep-Fe/Zn5/CM2 又は同等以上の処理*4</p> <p>土台(横架材)側: 「DH☆鍋頭ビス DB-120」2本 材 質: AISI 1022*3 寸 法: φ6.0mm L=120mm 頭部径φ9.8mm 表面処理: JIS H 8610(電気亜鉛めっき)Ep-Fe/Zn5/CM2 又は同等以上の処理*4</p> <p>3) 軸組材料</p> <p>柱: 105mm×105mm×600mm スギ 無等級材 含水率: 10.5~19.0% 全乾密度: 0.38~0.41g/cm³</p> <p>土台(横架材): 105mm×105mm×1000mm スギ 無等級材 含水率: 6.0~15.0% 全乾密度: 0.39~0.45g/cm³</p> <p>合板: 105mm×100mm 厚さt=30mm 構造用合板 含水率: 9.5~10.5% 全乾密度: 0.48~0.58g/cm³</p> <p>*1 SGHC・SGCC(JIS G 3302) 又は相当材 *2 Z27 又は相当の処理 *3 SWCH22A(JIS G 3507-2) 相当材 *4 本試験ではノンクロムラスパート処理を用いた</p> |
| 6. 試験条件等 | 試験体は接合部を実状に合わせた仕様としている。 試験体の固定: 柱芯から土台(横架材)両木口側に400mmの位置にM16ボルトと角座金W9.0×80を用いて、20N・mのトルク値で鉄骨架台に固定した。 |
| 7. 試験結果 | 短期基準接合耐力 10.9 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す) |
| 8. 試験場所 | ハウスプラス確認検査株式会社 横浜試験研究センター第二試験場: 神奈川県横浜市鶴見区矢向1-1-1 10番 |
| 9. 試験実施日 | 平成27年5月7日 |
| 10. 試験実施担当者 | ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 家納 吾郎 道場 信義 千葉 博 加川 啓介 土屋 江利佳 |

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。



受付日：平成27年4月30日
受付番号：HP15-KT067

接合部性能試験成績証

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
2015/6/30

東京都港区芝5-33-7
徳栄ビル本館4階
ハウスプラス確認検査株式会社
代表取締役社長 川股孝志

| | |
|-------------|--|
| 1. 接合金物名称 | DH クランクコーナー10 大地 |
| 2. 試験依頼者 | 株式会社 ダイダーハント 〒542-0086 大阪府大阪市中央区西心斎橋1丁目5番5号 |
| 3. 目的 | 柱頭柱脚接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。 |
| 4. 試験内容 | 柱頭柱脚接合部(隅柱)の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(平成21年4月1日制定)」による。 |
| 5. 試験体仕様 | <p>1) 接合金物</p> <p>「DH クランクコーナー10 大地」 材 質: SGHC(JIS G 3302)*1 寸 法: (外寸)30mm×42mm×120mm 板厚t=3.2mm 接合具用孔 (柱側)4-φ6.7mm (土台側)2-φ6.7mm 表面処理: Z27*2</p> <p>2) 接合具</p> <p>柱側: 「DH☆鍋頭ビス DB-60」4本 材 質: AISI 1022*3 寸 法: φ6.0mm(最小断面径φ5.05mm) L=60mm 頭部径φ9.8mm 表面処理: JIS H 8610(電気亜鉛めっき)Ep-Fe/Zn5/CM2 又は同等以上の処理*4</p> <p>土台(横架材)側: 「DH☆鍋頭ビス DB-120」2本 材 質: AISI 1022*3 寸 法: φ6.0mm L=120mm 頭部径φ9.8mm 表面処理: JIS H 8610(電気亜鉛めっき)Ep-Fe/Zn5/CM2 又は同等以上の処理*4</p> <p>3) 軸組材料</p> <p>柱: 105mm×105mm×600mm スギ 無等級材 含水率: 6.5~18.0% 全乾密度: 0.38~0.40g/cm³</p> <p>土台(横架材): 105mm×105mm×400mm スギ 無等級材 含水率: 8.0~10.5% 全乾密度: 0.40~0.43g/cm³</p> <p>合板: 105mm×100mm 厚さt=30mm 構造用合板 含水率: 8.5~9.5% 全乾密度: 0.48~0.60g/cm³</p> <p>*1 SGHC・SGCC(JIS G 3302) 又は相当材 *2 Z27 又は相当の処理 *3 SWCH22A(JIS G 3507-2) 相当材 *4 本試験ではノンクロムラスパート処理を用いた</p> |
| 6. 試験条件等 | 試験体は接合部を実状に合わせた仕様としている。 試験体の固定は、柱芯から土台(横架材)木口方向に金物取付側200mmの位置にM16ボルトと角座金W9.0×80を用いて、20N・mのトルク値で鉄骨架台に固定した。 |
| 7. 試験結果 | 短期基準接合耐力 10.4 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す) |
| 8. 試験場所 | ハウスプラス確認検査株式会社 横浜試験研究センター第二試験場: 神奈川県横浜市鶴見区矢向1-1-1 10番 |
| 9. 試験実施日 | 平成27年5月8日 |
| 10. 試験実施担当者 | ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 家納 吾郎 道場 信義 千葉 博 加川 啓介 土屋 江利佳 |

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。